

聖霊降臨後第24主日特禱（特定26）

全能の神よ、あなたは独りのみ子を与えてわたしたちの罪のいけにえとし、また清い生涯の模範とされました。どうか深く感謝してその計り知れない恵みを受け、常に力を尽くしてみ跡を踏むことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

旧約聖書 申命記 6章1-9節

6:1 これは、あなたがたの神、主があなたがたに教えられた戒め、掟と法であって、あなたがたが渡って行って所有しようとしている地で行うべきものである。2 あなたも、子も孫も、生きていくかぎり、あなたの神、主を畏れ、私が命じるすべての掟と戒めを守って、長く生きるためである。3 イスラエルよ、あなたは聞いて、守り行いなさい。そうすれば幸せになり、あなたの先祖の神、主が告げられたとおりに、乳と蜜の流れる地でああなたがたは大いに増える。4 聞け、イスラエルよ。私たちの神、主は唯一の主である。5 心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。6 今日私が命じるこれらの言葉を心に留めなさい。7 そして、あなたの子どもたちに繰り返し告げなさい。家に座しているときも、道を歩いているときも、寝ているときも、起きているときも唱えなさい。8 その言葉をしるしとして手に結び、記章として額に付け、9 また家の入り口の柱と町の門に書き記しなさい。

詩 編 第119編 1-8節

- 1 幸せな人、道からそれず // 主の教えに従って歩む人
- 2 その諭しをとがなく守り // 心を尽くして神を求め
- 3 悪に走ることなく // 神の道を歩む人
- 4 あなたの定めをよく守るようにと // 神よ、あなたはわたしに命じられた
- 5 あなたのおきてを守るために // わたしの歩みを支えてください
- 6 あなたの勧めを前にして // 恥じ入ることがないように
- 7 あなたの正しい審きを知り // わたしは素直な心で感謝する
- 8 あなたの正しいおきてを守るわたしを // 決して見捨てないでください

使徒書 ヘブライ人への手紙 7章22-28節

7:22 このようにして、イエスはいつそう優れた契約を保証する方とされたのです。23 また、レビの系統の祭司たちの場合、死というものがあるので、いつまでも務めを続けることができず、大勢の人が祭司となりました。24 しかし、イエスは永遠に生きていますので、変わる事のない祭司職を持っておられるのです。25 それで、ご自分を通して神に近づく人々を、完全に救うことができになります。この方は常に生きていて、彼らのために執り成しておられるからです。26 このように清く、悪も汚れもなく、罪人から離れ、もろもろの天よりも高くなった大祭司こそ、私たちにふさわしい方なのです。27 この方は、大祭司たちのように、まず自分の罪のため、次に民の罪のために、毎日いけにえを献げる必要はありません。ご自身を献げることによって、ただ一度でこれを成し遂げられたからです。28 律法は、弱さを持った人間を大祭司に任命しますが、律法の後から来た誓いの言葉は、永遠に完全な者とされた御子を大祭司としたのです。

福音書 マルコによる福音書 12章28-34節

12:28 彼らの議論を聞いていた律法学者の一人が進み出、イエスが立派にお答えになったのを見て、尋ねた。「あらゆる戒めのうちで、どれが第一でしょうか。」29 イエスはお答えになった。「第一の戒めは、これである。『聞け、イスラエルよ。私たちの神である主は、唯一の主である。30 心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』31 第二の戒めはこれである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる戒めはほかにない。」32 律法学者はイエスに言った。「先生、おっしゃるとおりです。『神は唯一である。ほかに神はない』と言われたのは、本当です。33 そして、『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くすいけにえや供え物よりも優れています。」34 イエスはこの律法学者が適切な答えをしたのを見て、「あなたは神の国から遠くない」と言われた。もはや、あえて質問する者はなかった。